



編集 SEF事務局
 連絡先 080-8865-0951
 URL <http://sef-jpn.org>

巻頭のことば

監事 加藤泰一郎

富岳が世界のスパコンのランキング(TOP500)で計算速度を含む4分野でNo.1を獲得した。トップの座は2011年の京以来9年ぶりの快挙である。日本の科学技術が世界トップレベルを維持していることは大いに喜ばしいが必ずしも手放しで喜んでいいわけではない。その理由は、①2021年には富岳の415PFLOPSをはるかに上回るAurora(1000PFLOPS超)、Frontier(1500PFLOPS)が米国で開発されており、中国も富岳を上回るスパコンを開発している。②富岳の開発コストは1300億円とされているが、米国・中国のスパコンの開発費は富岳の半分以上である。③富岳以降のスパコンの開発はまだ見えていない。④世界のスパコンTOP500の内訳は、中国226台、米国114台、日本30台、フランス18台、ドイツ16台などと、中国・米国から圧倒的に引き離されている。

いろいろネガティブな理由を並べたが、日本政府には今後10年のスパコン開発戦略を策定してもらいたい。さらに20年後の世界の科学技術の発展に貢献できる人材の育成政策と教育政策を策定してもらいたい。ところで、日本のスパコンの開発費がどうしてこんなに高額になるのか、ご存知の方がいらっしゃいましたら教えてください。

6月度理事会より(第201回 6月10日)

事務局

6月度理事会も新型コロナウイルスの影響でWEBでのオンライン開催となりました。

1. 月島環境エンジ社 海外業務支援契約更新 →可決承認
2. 2019年度下期 SEF サロン会計報告 →報告了承

3. 健康長寿実現推進機構との業務協力関係の構築

→報告了承

4. GBP との会計業務状況

→報告了承

5. 千代田化工社 電気計装品の検査コーディネート業務

→報告了承

臨時理事会より(第202回 6月10日)

事務局

通常総会後の臨時理事会もオンラインでの開催でした。

1. 理事長及び専務理事の選出 →可決承認

2. 第19期(2020年度)の体制

→可決承認

3. 第18回通常総会議事録の承認

→可決承認

事業報告(コミュニケーション研究会)

担当理事 長本啓仕

コミ研の目的は、①研究活動による会員相互の知見の向上、②会員の協同研究活動成果のオープン化による社会への貢献とする、としています。現在のメンバーは小泉、佐立、玉木、任田、長本の5名で、通常なら月1回の定例会を開催しておりますが、現在は新型コロナウイルスの関係で会合を自粛している状況です。每期ごとに研究テーマを決めて活動しており、17～18期は第8次テーマとして「日本人のこころ」を命題として各研究員がそれぞれの考えを論文、エッセイ等自由な発想で纏めることとしました。ただ、このテーマは切り口が多々あり、各自纏めるのになかなか苦労したのが現状です。又、併せて第9次テーマを何にするか・・・と云う事も検討しました。今年の3月末で、第8次テーマの成果物は例年通りHPに掲載すると共に、小冊子に印刷して会員に配布します。第19期の第9次テーマは「憲法」として、まず勉強会から始める事にしています。

会最大の課題は研究員の世代交代であり、新しいメンバー参加が望まれます。

SEFサロン(第116回の延期について)

担当理事 白崎善宏

新型コロナウイルスの感染防止のため、3月18日、5月20日に引き続き、残念ながら7月22日SEFサロンは延期といたします。何とか9月23日には再開できたらと思いますが、状況により再度お知らせいたします。

6月度会員動向

事務局

会員入退会

賛助会員入会 : 1団体
 (一般社団法人 健康長寿実現推進機構)

6月末日現在の会員数

正会員 : 27名
 準会員 : 43名
 賛助会員 : 6社